

LOGOS×永尾かね駒製作所 初コラボレーション！

「LOGOS×肥後守 ナイフ」新発売！

～メイプルリーフの刻印が入ったオリジナルデザイン肥後守4種～



【 LOGOS×肥後守シリーズ 】 <https://www.logos.ne.jp/products/44>

アウトドアブランドのLOGOS（本社：大阪市住之江区、代表取締役社長：柴田茂樹）は、永尾かね駒製作所とコラボレーションし、「LOGOS×肥後守 ナイフ」を新発売いたしました。

明治時代中期に考案された、刃を折りたたんで鞘に収められる構造のナイフ＝肥後守（ひごのかみ）。かつては現在のクッターナイフの役割を担い、鉛筆削りやちょっとした工作をはじめ日常生活の中で幅広く愛用されるとても身近な刃物でした。野山を駆ける少年たちは常にこのナイフを携え、よき冒険の相棒として彼らの成長を見守り続けた存在でもありました。

永尾かね駒製作所は、肥後守を製造する日本唯一の工房です。

最盛期には40軒あった肥後守の製造業者ですが、時代の煽りを受けて現在では1社しか残されていません。永尾かね駒製作所は5代、100年以上に渡って肥後守の伝統を継承し続けています。また、フランスの雑誌で特集されたことにより海外、とくにヨーロッパで評価が高まり、国内でも新たなファンを獲得しています。

今回、LOGOS×永尾かね駒製作所のコラボレーションで展開する肥後守は4種類です。「LOGOS×肥後守 ナイフ 青紙小」と「LOGOS×肥後守 ナイフ 青紙大」は、日本刀の原料として有名な玉鋼をルーツとする安来鋼の一種で、鋭い切れ味と刃持ちのよさを兼ね備えた鋼材、青紙を使用しています。

「LOGOS×肥後守 ナイフ 特別手作り鍛造」は、鋼材に青紙を用いるだけでなく、火床で赤めた鋼を打ち伸ばし鍛錬するという日本刀と同様の製法で作られています。それゆえに、ひとつとして同じものが存在しない美しい刃文が浮かび、見る者の心を掴んで離しません。

「LOGOS×肥後守 ナイフ VG10」は、切れ味こそ青紙には及ばないものの、刃持ちがよくサビに強いいため高級洋包丁などに用いられる鋼材、VG10を使用しています。

青紙、VG10ともに使用後のメンテナンスが欠かせません。サビ防止のために刃全体に椿油を薄く塗り込み、また切れ味が鈍れば刃を研ぐ必要があります。面倒な作業のように聞こえますが、ナイフの声に耳を傾け、自分だけのナイフを育てていく大切な過程であり、道具好きのアウトドアユーザーにとっては、至福のひとつでもあります。

ポケットに冒険を一。手の中から囁きかける名刀の声は、日常生活のなかで忘れてしまった感情をくすぐり私たちが冒険へと駆り立てます。今年の夏は「LOGOS×肥後守 ナイフ」をポケットに忍ばせて、これまでとは一味違うキャンプにぜひともご活用ください。

製品概要



製品 名 格	品 名	LOGOS×肥後守 ナイフ 特別手作り鍛造	
		価格	9,900円
		重量	(約) 60g
		サイズ	(約) 17.5×2×1.1cm
		収納サイズ	(約) 11.5×2.5×1.1cm
製品 名 格	品 名	LOGOS×肥後守 ナイフ VG10	
		価格	6,700円
		重量	(約) 44g
		サイズ	(約) 17×2×0.9cm
		収納サイズ	(約) 11×2×0.9cm
製品 名 格	品 名	LOGOS×肥後守 ナイフ 青紙大	
		価格	3,900円
		重量	(約) 47g
		サイズ	(約) 17×2×0.9cm
		収納サイズ	(約) 11×2×0.9cm
製品 名 格	品 名	LOGOS×肥後守 ナイフ 青紙小	
		価格	2,900円
		重量	(約) 35g
		サイズ	(約) 12.5×2×0.9cm
		収納サイズ	(約) 8.5×2×0.9cm



特別手作り鍛造



VG10



青紙大



青紙小

明治時代中期に生み出され100年以上の歴史を持つ日本の伝統的なナイフ「肥後守」とLOGOSが初のコラボ。コラボオリジナルロゴが入った「特別手造り青紙鍛造」・「VG-10」・「青紙大」・「青紙小」の4種類を展開。アウトドア調理やブッシュクラフトなど様々なシーンで、これまでとは一味違う楽しみ方ができる。

ポケットに冒険を。

アウトドアブランドのLOGOSが永尾かね駒製作所とのコラボレーションにより、「LOGOS×肥後守 ナイフ」シリーズをリリースします。

注目は「特別手作り鍛造モデル」です。鋭い切れ味と刃持ちのよさを兼ね備えた「青紙」という鋼材を使用し、日本刀と同様の製造方法を採用。火床で非熱の鋼材を打ち延ばし鍛えることで、ひとつとして同じものが存在しない美しい刃文が浮かびあがるのが特徴です。

たしかな品質は、肥後守というナイフを製造できる日本唯一の工場・永尾かね駒製作所だからこそ。本体部分に刻まれたLOGOSのイブレルマークが包含するアウトドアアクティビティの各場面、たき火や調理時などでも大活躍してくれることでしょう。

今回のコラボレーションは「特別手作り鍛造モデル」を含めて4種類がラインアップ。もよりのログスショップ（LOGOSの直営店）で、おたしかめください。

永尾かね駒製作所

金物のまちとして知られる兵庫県三木市にある工房で、永尾駒太郎氏によって明治27年（1894年）に創業されました。ナイフの製造からはじまり、のちに「肥後守」の製造にも着手。

5代、100年以上に渡って肥後守を作り続け、現在5代目の永尾光雄氏がその伝統技術を継承しています。永尾かね駒製作所は肥後守を製造する日本唯一の工房となっています。

LOGOSについて



LOGOSは家族が楽しめるキャンプやBBQの製品やウェアを展開・発信する総合アウトドアブランド。「海辺5メートルから標高800メートルまで」をブランドポリシーとして、大人から子供まで家族みんなが気軽に自然と触れ合える大切な時間を演出し、「Enjoy Outing!」を合言葉に屋外と人を繋ぐ第一ブランドを目指します。